

1 実践授業の「テーマ設定」について

例年は、各部会委員が自由にテーマを設定し、授業を企画していただいておりますが、協議会委員の方より「保幼小中一貫教育の成果を確認する意味で、テーマを統一化（例：すべての実践現場で、「ごみ問題」に関する授業を行う等）してはいかか」というご意見をいただきました。つきましては、今後行う実践授業のテーマを各学校園で統一するべきか否かについて、ご意見をお願いいたします。

No.	意見等
1	一定期間、実験的にやってみる価値はあると思う。 同じテーマでも、子どもの成長に応じた切り口や手法等、カリキュラムやプログラムに様々な違いが出るため、その活動の最後に全学年が集まり、発表し合うことができれば、そのテーマをより多角的に理解する機会にもなる。 「学びのピラミッド」では、「他の人に教える、または発表する」という行動を重視し、それを通じて子どもたちは自分が学んだり、体験したことをしっかりと自分のものにしていくことができると考える。
2	自由度は統一テーマとすることで失われる一方、効果判定は母数が多くなることでやりやすくなると思われる。本専門部会が効果判定に何を軸に置くかははっきりさせたいうえで、その方向性を決めるべきである。 例えば、テーマの数や内容を解析し、その効果を得るのであれば、外部の同様のテーマがどのような効果を得ていたか等の解析が必要だが、自由であることで多くのテーマを評価できる。本部会が何を求めているのかを初めに示すことで、各部会もテーマ設定がしやすくなるのではないと思う。
3	学校教育の自主性、学区の地域特性、ご父兄・PTAとの協力体制等を勘案し、テーマを統一化するのは、少々無理があると思う。ただし、板橋区として年度の重点テーマを設定する等、一定の配慮をして教育活動を実施・報告することは、あってもよいと思う。
4	自由テーマ、統一テーマの両立がよいと思う。
5	プログラムや手法によるが、テーマを統一した方が年齢ごとの捉え方や意識の度合いが分かるため、実践する価値はあると思う。
6	各部会委員が自らの学校やあいキッズに合ったテーマを設定する方が効果的であり、成果の確認よりも授業を受ける子どもたちのために最善の方法がとられるべきである。目的が何であるのかを踏まえ、テーマの統一の必要性を議論するべきである。
7	実践授業でテーマを統一することは、確かに一貫教育の成果を把握する為には良いと思うが、「保幼小中」全てにおいて同じテーマを設定する他、「保幼」と「小中」でテーマを分けて行う方法も有効と考える。
8	確認したい成果が「子どもの環境への意識が向上したかどうか」ということであれば、環境教育の定義や体系化（実践するためのカテゴリー等）を明確にした上で、環境教育の実践の回数やカテゴリー数を設定し、アンケートを用いることで「成果の確認」ができると思う。 一方で、統一化することが現場の方たちの負担軽減にもつながると思った。代表的な実践例として、これまでの活動の中で推薦できそうなものをあげつつも、現場へ対応の自由度は確保してほしい。現場の方たちは、子どもたちの個性や、対応者のスキルを踏まえて授業を企画・実行されるため、誰のための環境教育なのかということを考えると、単純な統一化が望ましいようには思わない。
9	今後行う実践授業のテーマを各学校園で統一しなくてもよいと考える。その理由は、各学校園によって教育方針が異なるためである。各学校園がそれぞれ掲げた教育方針に向かって子どもたちに成長してもらうためには、テーマを統一せず各学校園に見合った実践授業テーマを設定する方が効果的であると考える。
10	中学まで同じテーマとなると、テーマを決めるまでがかなり難しいのではないかと、今年度の実践を見学して感じた。しかしながら、テーマを統一することで、環境教育の成果等が一目瞭然となるため、試験的に実施することで面白い結果が得られるかもしれない。 環境プログラムを実践して、それを広めていくことが目的であるため、テーマを決めなくても良い。
回答	本件につきましては、賛成意見・反対意見共に複数件いただきました。テーマを自由にする場合も、統一化する場合も、それぞれ一長一短があると認識いたしました。いただいたご意見にもあるように、各学校園の教育方針や自主性を尊重し、またそこで学ぶ子どもたちにとって最善なテーマで実施していくことが特に重要であるとと考えております。今後のテーマ設定につきましては、これらのご意見を参考に、引き続き各学校園にとって効果的なものになるように進めてまいります。

## 2 実践授業の企画・内容の事前確認について

例年は、各部会委員に授業の企画・内容検討を一任しておりますが、場合によっては、内容不十分等により子どもたちが理解できなかったり、間違った理解をしたりする可能性が考えられます。つきましては、**実践授業の企画段階における、授業内容の事前確認の必要性**について、ご意見をお願いいたします。

No.	意見等
1	事前確認は大事だと思う。実践授業見学者の意見は、担当委員にとって有意義なインプットになっていると思う。様々な視点に触れ、コミュニケーションや議論を交わすことで、カリキュラムもプログラムもよりよいものに成長していくと考える。また、企画段階からこのインプットが可能になれば、授業の成果にも良い影響がでると思う。 環境問題は人々の生活習慣(文化)や価値観(宗教、倫理、哲学等)とも深く関わる内容が少なくないため、丁寧な対応が求められるべきである。大事なことを見落としていないか、誤解につながっていないか、ファシリテーターの気づきになればよいのではないかと考える。
2	企画そのものが何を狙っているのかを、広範囲ではなくピンポイントで分かりやすく提示することが、企画を行う上で必須である。子どもたちが正しく理解できるように、必要に応じて委員による助言等を踏まえながら企画案を吟味していくことが重要である。
3	児童・生徒の教育実践前の診断的評価と総括的評価（知識の獲得状況だけでなく、関心・意欲や態度変化、思考力・判断力・表現力の変化等に着目）を共通評価項目として設定して実施していくべきである。
4	事前確認は必要だと思う。授業後の質問時間等もあるとよい。
5	授業を担当されている先生方が、環境及び環境教育についてどの程度の知識・経験レベルかが不明であるため、「内容が不十分なのか、説明の仕方が不十分なのか」を検証する必要がある。
6	各部会委員の技量によって、環境教育の内容や質が大きく変わるような印象を受けた。事前に簡易にでも企画や内容のチェックやアドバイスをしてもらえるような指導的な立場の教員ポストが必要ではないか。
7	事前確認は必要だと思うが、授業の「軸」となる箇所が子どもに理解出来るかどうかの確認のみで良いと思う。授業を企画しても、受ける子どもたちが理解しないまま行うのでは、意味に欠けると思う。
8	授業内容の確認をする目的が「授業内容の充実化のための支援や具体的なアドバイスの提供」である場合は、事前確認を行うことに意味があると思う。一方で、批評だけをする者や、事前承認の意思決定等の手続きが増えることは、現場の負荷が高まる原因となるため、あってはならない。
9	仮に実践授業の内容が不十分で間違った認識をしてしまったとすると、その後の将来でもその知識のまま成長してしまうことがある。そのため、企画段階で一度事前確認を行うことで、そのような問題を防ぎ、内容もより良いものになるため、必要性は高いと考える。
10	委員は事前に企画を共有しているため、子どもたちの理解度や間違った理解がありそうな内容が予想されたときはあらかじめ内容についての助言等をする機会があると良いと思う。
回答	多くの委員の方より、事前確認が必要である旨のご意見をいただきました。実践授業は、毎年異なる学校園にて実施しており、授業を行う教員等の指導者も年々代わります。そのため、子どもたちが正しく理解でき、分かりやすいプログラムを維持するため、ある程度の確認が必要であると考えております。今後は、委員による事前確認を具体的にどの程度まで行うか等について、いただいたご意見を踏まえながら検討してまいります。

### 3 あいキッズでの実践授業について

あいキッズは、子どもたちにとって「放課後の遊び場」として認識されているため、実践授業（30分程度）を実施しても集中力が持続しない印象を受けました。つきましては、**あいキッズにおいて、子どもたちが最後まで集中して取り組めるような学習の手法等**について、ご意見をお願いいたします。

No.	意見等
1	企画段階からいろいろな専門家に関わっていただき、ブレインストーミングを通して、試行錯誤を惜しまずやってみることが大事だと思う。「授業」とは違う手法が必要であるとも考える。例えば、地域コミュニティの様々な仕事をしている人たちにボランティアとして来てもらい、子どもたちに「仕事」の話をすることで、環境問題とどう関わっているか、といった内容にする等、放課後教室にふさわしいコンテンツと手法が求められている。
2	何%の子どもが集中していたらOKなのか、その境界値を決め、その目標が達成のための議論をすることが必要である。やみくもに各論の手法論について議論を進めても、目標が定まっていなくて答えはまとめられないと思う。
3	「集中」しているかどうかを外見だけで判断するのは難しい。内向的な子ども（おとなしい子ども）は、集中しているように見えても、他のことを考えていることがある。一方で、発話や行動的な子どもは一見して落ち着きがないようにとられることもある。本点について、どのようなことを実践授業として求めているのか、その整合性を踏まえてさらなる審議（対面的な議論）が必要であると考えます。
4	朝から授業を受けている子どもたちにとっては、その後の実践授業はたとえ30分でも持続できないのは当然だと思う。子どもたちの興味が湧く内容で実施する必要がある。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループ化してそれぞれリーダーをつくり、グループワークを進める</li> <li>・テーマの最初をイラストやアニメーションで意識を向けさせる</li> <li>・遊びを取り入れた教育手法を取り入れる</li> <li>・板橋区で新たに環境のゆるキャラを作り活用する</li> </ul>
6	あいキッズでの環境教育は、座学ではなく体験を中心に実施してはどうか。体験を通じて学びを得るような取り組みが放課後にはふさわしいように思う。
7	あいキッズは、子どもたちが学校とは違った友達同士の集団と、1人ひとりの個性を育む場所であると思う。その中で全員30分程度としても集中力を保つのは難しいため、遊びの中で達成感を感じさせる取り組み（例えば空き箱を利用したの工作）が重要であると考えます。
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を短くする</li> <li>・学習時の環境を孤立化する（他のことをなるべく排除する）</li> <li>・理解させるより、印象的な演出を心がける（種をまくだけ）</li> <li>・作業を取り込む</li> <li>・大まかな発達ごとで学習タイミングを分ける（1年だけ、2年生と3年生だけのグループのような）</li> <li>・2つのテーマを同時に開催し、子どもたちに選択をしてもらう</li> <li>・集中力が持続しないこともよしとする</li> <li>・取りに行く、探すといった行動が入るような内容にしてみる</li> <li>・NPO等の環境教育の専門家たちに外注する</li> </ul>
9	放課後であるということで、子どもたちも友達と遊びたいという気持ちが強いというのは納得できる。そのため、放課後の授業では「聞く授業」ではなく、子どもたちの話し合いの時間を多くしたり、複数人で答えを導き出したりするような授業を行うことで、集中力が保たれるのではないかと考える。
10	座学は難しいと思われるので、体を動かしたり、ゲームにしたり等がある良い。その方向性に基づいたテーマの絞り込みが必要である。各学年の理解度にも差が生じるため、学年を絞ることも良いと思う。
回答	あいキッズの学習においては「授業」よりも「体験」や「遊び」の中で学びを提供する手法が必要であるというご意見を多くいただきました。放課後という開放的な環境に適したプログラムを検討するとともに、小学校の授業がない「夏休み期間」での実施も視野に入れながら、今後も効果的な学習機会の提供に努めてまいります。

#### 4 実践授業後の「意見交換」について

以前は、各施設での授業終了後、その場で見学者による意見交換の時間（30分程度）を設けていました。現在はコロナ対策により、その場での意見交換は省略し、見学者からは後日意見シートをご提出いただく形をとっています。つきましては、**意見交換を従前または現在の形式のどちらで行うことが適切か**、ご意見をお願いいたします。

No.	意見等
1	両方ともいい面があると思う。後日提出する場合は、現場から離れた所で客観的に考えをまとめることができると思う。一方で授業終了直後の場合は、より現場の詳細を覚えており、担当者と見学者が直接コミュニケーションを取ることで議論を深め、それぞれの気づきを高めていくことができると思う。
2	議論は対面での意見交換が必須と考える。時代が変化し、オンラインでの伝達が普及しているが、真意が伝わりにくい、という欠点もある。よって、その場で意見交換を行うという従来の方法を再開するのが良いと思う。
3	「シート」とは、ペーパーまたはフォーム等での提出のことか。文字情報だけの意見は、文脈等がわからないため、その場で意見交換を実施するのが望ましいと考える。
4	その場での意見交換をした方が、具体的なやり取りができると思う。
5	当日に授業内容の資料を配付し、後日意見シートで提出する方法が良いと思う。
6	後日、シートでの提出で良いと思う。
7	見学者の意見を聞くことが重要だと思う。
8	直後で意見交換をする方が、手間が少なそうでよさそうに思う。
9	コロナ対策を行うことは重要だが、日常生活での制限も緩和されてきているため、従前の形式を再検討してみても良いかと思う。その場で意見交換をすることで、より新鮮で感じたままの意見が出ると思う。
10	その場での意見交換があると、見学者の理解もより深まると思う。
回答	意見交換を行うタイミングについては、様々なご意見をいただきましたが、「その場で対面にて実施するべき」とのご意見がやや多い結果となりました。現場に集まった見学者とはその場で意見交換をし、見学に来れなかった方には動画配信等を活用して後日ご意見をいただく等、工夫の余地がある所は改善してまいります。

## 5 その他、専門部会に関するご意見・ご質問等

No.	意見等
1	専門部会の先生方からの意見（苦労している点、課題等）を聴取してほしい。
2	温暖化に対する取組みは拝見できたが、今後は「グローバル」な気候変動と自然災害、緩和と適応等に関する学習や活動の実践展開について、各部会にてご検討いただくことを期待している。
3	<p>各授業の実践をすることが目的ではなく、その授業によって生徒たちがどのように意識し、その後どう行動が変わったか等を検証することが重要である。（学年ごとの意識・行動の変化が環境教育の成果として重要。）</p> <p>また、授業の過程で子どもたちがどのような意見を出したのか等、見学をしなかった方にも子どもたちの意識レベルが分かると良い。特に、今回の「アマゾン川流域の地域開発」のテーマ・手法は、SDGsのゲーム体験の手法を取り入れているようで、子どもたちの様子が気になった。</p> <p>さらに、国内には環境カウンセラー制度や環境教育インストラクター等の認定制度もあるため、その方の所見や臨時講師をお願いするのも先生方の参考になり良いのではないか。</p>
4	<p>例えば、「ごみ」がテーマなら、ごみ収集車の作業や処理施設の膨大なごみの山を見学する。これらの体験が強烈なインパクトとなり、「ごみをどうやって減らそうか」とディスカッションに進めることで、問題解決に大きく近づけるのではないかと思う。</p> <p>メディアでも、海外の方が「日本の水道の水は美味しい」と言っているが、その水を無駄遣いしていいのか、という問題を、浄水場や水道資料館等での見学を通して学べる仕組みがあるとよいと思う。</p>
5	エコポリスセンターの統計等が参考になった。
6	見学者が少ないため、もう少し人数が増えると様々な意見が出ると思う。人数確保の工夫があるとよい。
回答	<p>今年度より、実践授業の様子を動画にて公開しております。これにより、授業の内容や子どもたちの取組みの様子を、委員の方や他の教育機関等とも共有でき、様々な主体同士での連携を生み出すきっかけにできると考えております。今後も、専門部会の委員の意見を聞きながら、各学校園にて工夫に富んだプログラムを実践してまいります。</p>

## 6 専門部会以外について（自由意見）

No.	意見等
1	対面会議で対話を重ねることにより、議論がより深まると思う。
2	「環境教育実践報告書」の「実践後の検証」で、良かった点、課題、改善点などについて、担当委員だけでなく、見学者のコメントが詳しく載っていたのが参考になった。
3	時間調整や感染対策等の課題はあるが、対面またはオンラインでの顔を見せ合った会議が必要ではないかと思う。
4	今後の協議会の開催形式について、検討状況を共有してほしい。コロナの制限が緩和されることも受け、今後は対面開催を実施してもよいかと思う。メール開催だと詳細が分からない。オンライン（Web会議）でもよいので、リアルタイムの協議会開催について検討してほしい。
5	<p>学校教育では全員同じ教育を受けるが、全員が同様に理解し知識を得る事は難しい。塾通いも多いが、行きたい子どもが全員行けるわけではない。自己意識が芽生える頃には、望み通りに教育を受けられる子もいれば、経済的な事情等により諦めざるを得ない子もいる。</p> <p>また、教員の不足により、一人あたりの教員の負担が大きければ、十分な教育が提供できない。全ての面で次の世代を担う子どもたちの十分な学びの場を平等に提供できる環境作りを考えるべきである。</p> <p>上記の問題定義は、自分自身の認識不足の点が多くあると思うので、区側の考えを教えてください。</p>
6	<p>YouTubelに公開された実践授業の動画を拝見したが、環境教育を実践した際の子どもたちの様子が分かりやすかった。現場の様子を動画で公開することが、関係者や今後実践をする方たちへの理解を促すことにつながると思った。</p> <p>また、動画編集を専門で行う方がいれば、より多くの実践授業を掲載することができると思う。</p>
回答	<p>対面またはオンライン（リアルタイム）での会議開催が必要であるというご意見を多くいただきました。環境教育の専門家の方と学校等現場の教育者が一堂に会することで、具体的な議論ができ、出席者の更なる理解につながるものと考えております。コロナ禍による制限が緩和されていく状況でもあるため、令和5年度の協議会は対面開催も視野に入れて検討してまいります。</p>